

記入例(原因食物:鶏卵(生卵のみ)、うずらの卵、エビ・カニの場合)

【表】学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)

名前 茨木 太郎 (男・女) 2009 年 6 月 16 日生 1 年 1 組 提出日 2024 年 12 月 20 日
 ※この生活管理指導表は、学校の生活において特別な配慮や管理が必要となった場合に医師が作成するものです。

病型・治療		学校生活上の留意点		★保護者	
アナフィラキシー (ありなし) 食物アレルギー (ありなし)	A 食物アレルギー病型(食物アレルギーありの場合のみ記載) 1. 即時型 2. 口腔アレルギー症候群 3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー	A 給食 1. 管理不要 2. 管理必要 管理必要な場合は横の空欄に必ず対応を記載	★保護者 電話: 072-000-0000		
	B アナフィラキシー病型(アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載) 1. 食物 (原因 鶏卵) 2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー 3. 運動誘発アナフィラキシー 4. 昆虫 () 5. 医薬品 () 6. その他 () 完全除去→除去根拠の番号のみ記載 生卵除去→番号と「生卵」を記載 (※加熱したものは提供します)	B 食物・食材を扱う授業・活動 1. 管理不要 2. 管理必要 C 運動(体育・部活動等) 1. 管理不要 2. 管理必要 食後2時間以内は運動はしない。 D 宿泊を伴う校外活動 1. 管理不要 2. 管理必要	★連絡医療機関 医療機関名: ○○会 ○○病院 電話: 072-000-0000		
	C 原因食物・除去根拠 該当する食品の番号に○をし、かつ《 》内に除去根拠を記載 1. 鶏卵 《 ①③ 生卵 》 [除去根拠] 該当するものを《 》内に記載 2. 牛乳・乳製品 《 》 ① 明らかな症状の既往 ② 食物経口負荷試験陽性 3. 小麦 《 》 ③ IgE抗体等検査結果陽性 ④ 未摂取 4. ソバ 《 》 ()に具体的な食品名を記載 5. ビーナッツ 《 》 6. 甲殻類 《 ①③ 》 (すべて エビ・カニ) 7. 木の実類 《 》 (すべて・クルミ・ガッシュ・アーモンド) 8. 果物類 《 》 () 9. 魚類 《 》 () 10. 肉類 《 》 () 11. その他1 《 ①③ 》 (うずらの卵) 12. その他2 《 》 () 鶏卵はニワトリの卵のことなので、それ以外の卵アレルギーがある場合は記載。生の果物(8.果物類でも可)や生の野菜があればこちらに記載。	E 原因食物を除去する場合により厳しい除去が必要なもの ※本欄に○がついた場合、該当する食品を使用した料理については、給食対応が困難となる場合があります。 鶏卵: 卵殻カルシウム 牛乳: 乳糖・乳清焼成カルシウム 小麦: 醤油・酢・味噌 大豆: 大豆油・醤油・味噌 ゴマ: ゴマ油 魚類: かつおだし・いりこだし・魚醤 肉類: エキス 必ず症状と症状出現時の対応を記載	記載日 2024 年 12 月 10 日 医師名 大阪 一郎		
	D 緊急時に備えた処方箋 1. 内服薬(抗ヒスタミン薬、ステロイド薬) 2. アドレナリン自己注射薬(「エビベン」) 3. その他 ()	F その他の配慮・管理事項(自由記述) 症状: 発赤、蕁麻疹、咳 対応: 内服薬を服薬する。アナフィラキシー時は、エビベンを使用し緊急搬送をする。	医療機関名 ○○会 ○○病院		
気管支ぜん息 (ありなし)	病型・治療 A 症状のコントロール状態 1. 良好 2. 比較的良好 3. 不良 B-1 長期管理薬(吸入) 1. ステロイド吸入薬 () () () 2. ステロイド吸入薬/長時間作用性吸入ベータ刺激薬配合剤 () () () 3. その他 () () () B-2 長期管理薬(内服) 1. ロイコトリエン受容体拮抗薬 () () 2. その他 () () B-3 長期管理薬(注射) 1. 生物学的製剤 () () C 発作時の対応 1. ベータ刺激薬吸入 () () () 2. ベータ刺激薬内服 () () ()	学校生活上の留意点 A 運動(体育・部活動等) 1. 管理不要 2. 管理必要 B 動物との接触やホリ等の舞う環境での活動 1. 管理不要 2. 管理必要 C 宿泊を伴う校外活動 1. 管理不要 2. 管理必要 D その他の配慮・管理事項(自由記述) 症状: 喘鳴、激しい咳 対応: 吸入薬(薬品名と量:)を吸入する	★保護者 電話: 072-000-0000 ★連絡医療機関 医療機関名: ○○会 ○○病院 電話: 072-000-0000		
記載日 2024 年 12 月 10 日 医師名 大阪 一郎		医療機関名 ○○会 ○○病院			